

2020 年 4 月 27 日

35 回生のみなさんへ

3 学年主任 鈴木義章

全国高校総体の中止を受けて

全国高校総体の中止が決定しました。ある程度は想定していたものの非常に残念です。しかし、都道府県での総体開催は中止が決定したわけではありません。これからは各関係団体と都道府県の協議・調整が進み、方向性が示される見通しです。私は休校が始まってから、サッカー関係者として協議・原案作成・各種会議への提案準備などを進めてきました。関係者の思いは「試合をさせてやりたい」で一致しています。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の収束状況が不透明な現在の段階でどのような判断をするかは非常に悩ましいところです。また、文化部の各種コンクールや展覧会、発表会についても「三密」を避ける観点から開催には細心の注意や入念な対策が必要となるでしょう。

さて、『準備』する上で気をつけなければいけない点について考えました。

- 1 最高の結果を出すために準備する。
- 2 細部の検討を怠らない。
- 3 目標・目的を見失わない。
- 4 予定通り進まない時の対応を考える。
- 5 過程や結果に対する批判を予想する。

県高体連サッカー部の関係者は1～4について3月から検討・協議を続けています。5については「どんな決定に対しても、何らかの批判は出るよな」という意見があります。現在の政府や都道府県が行っている緊急事態宣言や休業要請などについてと同様です。批判や反対意見に耳を傾けることは大切です。それがなければ独裁になります。批判や反対意見を述べる時に情報の拡大解釈や過大評価で論理を展開する人がいます。それも意見のひとつです。そこで、重要なのはリーダーの決断です。みなさんはリーダーとして決断を迫られたことはありますか？政治家の判断に比べれば、この状況で自分自身がすべきことを決定することは難しくありません。難しいのは始めることと続けることです。先は見えなくても、やるべきことは見失わないでほしいと思います。再び、次の言葉を送ります。

No Sight but On Sight!